

解き明かしと預言



部 1970/3

Exercising Spiritual Gifts
著者 デレク・プリンス

前回の学びは、別の言葉(異言)で話すという超自然的しるしを伴う聖霊のバプテスマについてでした。神の目的の中で、聖霊のバプテスマは単なる入り口に過ぎないと私は考えます。過去のペンテコステのムーブメントでは、それがゴールなのか、入り口なのかという議論がなされてきました。そして、「私は救われ、水のバプテスマを受け、聖霊のバプテスマを受けた。異言で話している。私はすべてを得た」と主張するペンテコステ派がいくつかありました。残念ながら、それは間違いで、「すべてを得た、到達した」と考えていた人たちは消えてしまいました。バプテスマはゴールではなく、入り口です。終点ではなく、超自然的な力の中を生きる人生の始まりです。通常、ほとんどの人の経験において、聖霊のバプテスマは、御霊の超自然的な賜物や他の多くの超自然的な経験への入り口であると私は信じます。自然の領域だけで充実したクリスチャン生活を送ることは不可能だと思います。クリスチャン生活は超自然で満ちています。使徒の働きは28章ありますが、そのすべての章に超自然的な出来事の記述があります。使徒の働きの書は、主が教会に意図しておられる、教会のあるべき姿の唯一の公的記録なのです。

ですから、バプテスマに続いて、このセッションと次のセッションで超自然的な御霊の賜物を取り扱いたいと思います。まず、第一コリント12:8-10にあるリストから読みましょう。そこには9つの賜物が書かれています。

「ある人には御霊によって知恵のことばが与えられ、ほかの人には同じ御霊にかなう知識のことばが与えられ、またある人には同じ御霊による信仰が与えられ、ある人には同一の御霊によって、いやしの賜物が与えられ、ある人には奇蹟を行う力、ある人には預言、ある人には霊を見分ける力、ある人には異言、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。」

聖書学者の間では、一般的にそれらの9つの賜物を3つのグループに分けています。これは教理ではなく、利便性のためです。この学びで扱う賜物に焦点を当てる前に、そのことを簡単に説明します。

啓示の賜物は3つあります。「知恵のことば」、「知識のことば」、そして「霊を見分ける力」です。これらは啓示の賜物です。

また、力の賜物も3つあります。「信仰」、「奇跡」、そして「癒やし」です。

「兄弟たち。では、どうすればよいのでしょうか。あなたがたが集まる時には、それぞれの人が賛美したり、教えたり、黙示を話したり、異言を話したり、解き明かしたりします。」

さて、皆さんの注意を引くために、それら2つのことを逆の順序で言いました。三つ目のアウトラインは私にとって2つ目です。解き明かしについてです。解き明かしの賜物の練習に導きたいと思います。準備はいいですか。あなたの決断次第です。聖書は私たちが解き明かしをすることを励ましています。1コリント14:5です。

「私はあなたがたがみな異言を話すことを望んでいます。それよりも、あなたがたが預言することを望みます。もし異言を話す者がその解き明かしをして教会の徳を高めるのでないなら、異言を語る者よりも、預言する者のほうがまさっています。」

異言を話し、解き明かしのために祈るようにと神が言っているなら、つまり、それは神のみこころが解き明かしであるということを示しています。そうでなければ、神はそうしなさいと言わないでしょう。

そして、受けるときについてです。これはとても重要です。マルコ 11:24 です。

「だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります。」

あなたはいつ受けたのですか。そう、祈った時です。繰り返しますが、もしあなたが神のみこころを祈っているなら、神は聞き、かなえてくださることを私たちは知っています。

では、一般的な確信を実践しましょう。前の学びで読みましたが、イエスはあなたがパンを下さいと言ったなら、石をもらうことはないと言われました。魚を下さいと言ったら、蛇をもらうことはありません。卵を願ったら、サソリをもらうことはありません。あなたが良いものを願ったら、悪いものをもらうことはありません。隣の人にそれを言ってください。「あなたが良いものを願ったら、悪いものをもらうことはありません。」

あとは行動するだけです。準備はいいですか。私が始める合図をしたら、一人ひとりが主に向かい、周りを気にせず異言で話してください。いいですか。あなたの意志がスイッチであることを忘れないでください。あなたがスイッチを入れ、あなたがスイッチを切ります。5分間は何も話さないでください。なぜなら、あなたは頭の中で、「どうやって解き明かすことができるのだろうか」などと色々と考えてしまうからです。最初は1、2分の沈黙から始めますので、話し出さないでください。それは異言を話すときの大きな間違いです。話して、止める。いいですか。解き明かしの賜物を用いる人は、時に異言で話すとき、「さあ、解き明かし始めよう」と思って異言を語り、少しずつ解き明かしをします。そのようにしてはいけません。話して、止める。次にあなたがすべきことは何ですか。こう言うのです。「今、主イエスの御名によって解き明かしを私に与えてください。」いいですか。次に行くことは、解き明かすことです。あなたはそれを受けたと信じるのです。受けたと信じるなら、それをどうするのですか。用いるのです。異言で話し続けしないでください。それはバプテスマのつまづきです。バプテスマで起こる問題は、人々が自分の言語で話し続けることで、異言で話せなくなってしまうことです。なぜなら、2つの言語を同時に話すことはできないからです。今はその逆です。あなたは異言で、神があなたに語ってほしいことをすべて話したとあなたが感じるところまで話します。神はとても忍耐と恵みに満ちたお方です。つまり、神はあなたの信仰の尺度を超えたことをさせようとはしません。ですから、あなたはそこまできたら、それ以上異言で話さず、「主イエスの御名によって、私に解き明かしを与えてください」と言います。そして深呼吸をして、解き明かしをします。いいですか。

私の経験から言うと、人数が多くても問題ありません。一人ひとりが個人的に神と向き合うからです。おそらく200名ぐらいが今ここにいますが、神には問題ではありません。あなたは直接、神とつながるのです。

話すときは隣の人の邪魔にならないように、あまり大声で話さず、自分で聞こえる程度の声で話してください。声を発してください。それをしばらく行い、少し止めて確かめます。

興味深いことをお話ししましょう。通常、解き明かしをするとき、2つのうちのどちらかの形を取ります。賛美と礼拝、もしくは神があなたの唇を用いてあなたのためにメッセージを語るかのどちらかです。私がこれを最初に始めたときの割合は、賛美と礼拝が60%で、神がその人に語っていることが40%でした。しかし、今はその逆になっています。それは、神が神の民に話したいことが60%以上に、賛美・礼拝が40%になるようにと願っているということを示していると思います。何を求めるかはあなたが決めることではありません。それは聖霊が決めることです。何を受け取っても感謝してください。それは光栄なことです。準備はいいですか。

今、あなたは異言で話し、止めてこう言います。「イエスの御名によって、解き明かしを与えてください。」 いいですね。

(少しの時間)今、異言で話し終えているはずです。ある人はすでに解き明かしを受け取っています。あと1、2分時間を与えましょう。(少しの時間)では、確認してみましょう。何人ぐらいが解き明かしを受け取りましたか。手を挙げてください。少し手を挙げたままにしておいてください。これはかなり良いしるしです。9割近くの人が受けましたね。手を下ろしてください。では、賛美・礼拝を受け取った人は何人いますか。神があなたの唇を用いて語ってくださったという人は何人いますか。見てください!これが、神が教会になされる本当のしるしです。喜びを感じている人はどれくらいいますか。主からの励ましのことばをもらった人は何人くらいいますか。導きをもらった人は?素晴らしいです!

受け取らなかった人たちは、取り残されたと感じないでください。あなたもこの人々と同じようにすればいいのです。神には、えこひいきがありません。もう一度やりましょう。解き明かしの最後の練習です。異言で話し、止めて、神に解き明かしを求める。いいですか。あまり多くの時間は取りません。時間を取ればとるほど、やる気がなくなるでしょう。思い切って行なってください。

では、確かめてみましょう。先ほど受け取らなかったけれど、今受け取った人はどれくらいいますか。手を挙げてください。一人いますね。他には?もう一人いますね。ハレルヤ。その後の女性も受け取りましたね。素晴らしい。アーメン!

さて、ステップ3は、とてもシンプルです。預言です。預言することを勧めているみことばをもう一度見てみましょう。1コリント 14:1 です。一緒に読みましょう。

「愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。」

「みなが異言を話すとしたら、初心の者とか信者でない者とかが入って来たとき、彼らはあなたがたを、気が狂っていると言わないでしょうか。」

「しかし、もしみなが預言をするなら…」

「しかし、もしみなが預言をするなら、信者でない者や初心の者が入って来たとき、その人はみなの方によって罪を示されます。みなにさばかれ、心の秘密があらわにされます。そうして、神が確かにあなたがたの中におられると言って、ひれ伏して神を拝むでしょう。」

「あなたがたは、みながかわるがわる預言できるのであって、すべての人が学ぶことができ、すべての人が勧めを受けることができるのです。」

「それゆえ、私の兄弟たち。預言することを熱心に求めなさい。異言を話すことも禁じてはいけません。」

Derekprince.com

「あなたは地球の美しさ、私の花嫁、私の目の
中のリングです。私のあなたへの理由と計画
は、世界が私の愛と賛美の輝きを感じることで
す。あなたの声で命を与え、（不明瞭）。他の人
がどう思うかを恐れないでください。私の言葉
を語り、私の言葉に従ってください（不明瞭）。」

アーメン。神を賛美します。さて、それは完了しました。神に感謝します。それはあなたが予言したのは初めてではありませんよね？長い間ですね。あなたは自分の賜物を錆びさせてしまったのです、わかりますか？もう二度とそんなことが起こらないように、主に告げる必要がありますね。わかりましたか？

もう一人いきましょう。この若者を選びます。あなたは若い男性ですね、私はそれを確信しています！

（テープのスピーカーの音が聞こえなかった、あまりにも多くが理解できなかった。）

アーメン、ありがとう。それはあなたがそのようなことをしたのは初めてですか？おめでとうございます。さあ、止めないでください。テーマがどれほど一貫しているか見てください。神

の愛、私たちへの彼の思いやり、私たちが心配や恐れから解放され、大胆であることを望んでいるということです。

アーメン。立ち上がって主に賛美をささげましょう。主よ、感謝します。あなたの素晴らしい御名をほめたたえます。主イエスさま、ありがとうございます。あなたの御名を賛美します。ハレルヤ。栄光は主に! 感謝します、主よ。アーメン。

神の祝福がありますように。また約5分後にお会いしましょう。

アーメン、ありがとう。それはあなたがそのようなことをしたのは初めてですか？さて、おめでとうございます。さあ、止めてください。テーマがどれほど一貫しているか見てください。神の愛、私たちへの彼の配慮、彼が私たちを心配や恐れから解放し、大胆であってほしいと思っていること。

アーメン。今、私たちは立ち上がって主に賛美の捧げ物をしましょう。ありがとうございます、主よ。あなたの素晴らしい名を賛美します、主よ。ありがとうございます、主イエス。あなたの名に栄光を。アレルヤ、神に栄光を。ありがとうございます、主よ。アーメン。

神の祝福がありますように。私たちは約5分後に再会したいと思います。

メッセージ 

原稿: MV-4155-100-JPN

最終更新日: 12 Oct 2026

ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources



“「特に、忍耐することが
神の最善を得るための鍵
です。」”

デレク・プリンス



Derekprince.com/ja/resources